

生産縮小によるファクトリーツアーの今後に関するFAQ

文責：
ツアー部門マネージャー
近藤結月

平素より大変お世話になっております。

2023年9月1日に皆さま宛に送付いたしましたSALASUSUファクトリーツアーの今後に関しまして、ご理解いただき誠にありがとうございます。

アナウンスにて、説明不足な点が多々あったこと、お詫び申し上げます。

アナウンスに対しいただいたご質問につきまして、下記にて答えさせていただきます。

もし他にもご不明な点がございましたら tour@salasusu.com | SALASUSU近藤宛にお問い合わせくださいませ。

今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

現在ある工房自体の今後

- これまで「工房」としてきた農村の工房は現段階ではそのままの建物、そのままの場所にて名称が「学校」に変わる予定です
- お客様の訪問のご案内もこれまでと同じ場所で行います
- トレーニングの場所、ものづくりの場所も基本的に変更はございません

訪問プランについて

各種プランの最大受け入れ可能人数

- ベーシックプラン
 - 大きな団体様のお受け入れもこれまで通り可能ですが、訪問場所のキャパシティやアattendするスタッフの人数の関係上、中小グループにわけ、コンテンツを入れ替えたり、場合によっては午前と午後、日にちを分けてのご案内をさせていただきます。最高の詳細に関しましては随時お気軽にご相談ください。
 - 農村家庭訪問

■ ベーシックプラン同様

- い草のチャーム作りプラン
 - 一度に最大15名
 - 数回に分けてでしたら大きな団体様にもご案内可能となっております。お気軽にご相談ください。

事業内容について

- 「学校」とは
 - 公立学校・職業訓練校のいずれでもなく、カンボジアの公教育を支える「実験校」
 - 対象
 - 現段階ではこれまで工房で働いていた作り手が対象となっております。将来的には16歳以上の小・中学校中退のカンボジア人を対象とする予定です。（毎年20 - 30名程度の受入予定）
 - 主旨
 - 上記対象者が小学校卒業の学力と人生を楽しみ生きる力を身につけること。
- 自社実験校で行っていく具体的な内容
 - カンボジア人教師が実現する学ぶ事を諦めてきた人でも誰でも自分のペースで学び直せる教室作りへの挑戦
 - 日本の研究者とともに最先端のカリキュラム開発
 - 全国の教師が日々見学に来る現場づくり